

# みかん

## 貯蔵管理



果樹林産センター  
小杉 真啓

青島温州の出荷が本格的に始まりましたが、収穫が終了した時点から次年度の栽培も始まります。出荷作業が優先ですが、園地管理も怠らないようにしましょう。

### 《貯蔵管理》

貯蔵に最適な環境は、入庫量1坪1トン、庫内温度5〜8℃、湿度85%です。貯蔵庫内の点検は1か月に1〜2回行い、腐敗果を除去しましょう。

浮皮の程度で貯蔵できる期間が違つので、健全果・浮皮軽度の果実・浮皮中度の果実と程度別に貯蔵しましょう。【表1】

### 《樹勢回復》

収穫後、樹勢回復や花芽分化の充実を図るために、尿素500倍を1週間間隔で2〜3回程度散布してください。マルチ栽培園地では、シート除去してから、葉面散布とかん水を行い、樹勢の早期回復を図ってください。また、秋肥は基準量の半分を施肥し、残りの半分を4月下旬〜5月に施用します。

### 《寒害対策》

気象が不安定でミカン樹が低温にさらされることがあるため、寒害対策も必要です。冷気が停滞しやすい場所や風の当たりやすい場所は、寒冷紗やコモで樹を覆いましょう。また、敷きワラなどを土に被せると乾燥防止にもなります。

### 《中晩柑の収穫》

1月に入ると中晩柑類も随時収穫時期となります。増糖や減酸を考え、なるべくならしておきたいところですが、低温にさらされると凍害の発生が懸念されるため、寒波が予想される場合は収穫をしてください。【表2】

### 《病害虫防除》

近年、カイガラムシ類が増加傾向にあるので、冬季のマシン油乳剤の散布を行ってください。マシン油乳剤は害虫に直接かからないと効果がないため、5日程度晴天が続くことを確認して散布しましょう。剪定を終えて3月の散布は薬剤がかかりやすく、効果的です。また、散布ムラや散布直後の降雨は効果が減退するので注意してください。

1月  
・カイガラムシ類、ハダニ類  
マシン油乳剤(97%) 60倍

【表2】

品種名	収穫時期	出荷時期
はるみ	12/下~1/中	2/中~
甘夏	1/中~3/中	3/上~
不知火	2/上~2/下	3/上~
せとか	2/上~2/下	2/下~4/上

【表1】

浮皮の程度	貯蔵可能な期間
なし	2月
軽度	1~2月
中程度以上	1月